

農家カフェの展開による周年観光果樹園への進化 ～HATAKE Cafe の多店舗展開によるフルーツの魅力発信～

株式会社 高橋フルーツランド（上山市）

1 受賞者の概要

城下町、宿場町、温泉町の3つの顔を合わせ持つ観光地で、県内でも有数の果樹産地である上山市において、さくらんぼ1.7ha、西洋なし1.5ha、ぶどう23a、かき20aなどを栽培し、観光果樹園を営む一戸一法人型の経営である。後継者が中心となって果樹園内にカフェを開店し、郊外路線商業地や山形駅ビル商業施設等にサテライトショップを多店舗展開している。



代表取締役社長(左)と
代表取締役専務(右)

2 特色ある活動

(1) 上山市観光の一翼を担う観光果樹園への発展

果樹と水稲の複合経営から、昭和58年、果樹専作の観光果樹園経営に転換し、それ以降、土づくりを重視した味の濃い果物づくりに取り組んでいる。

上山温泉の旅館と連携した観光サービスを提供するため、平成2年に売店を建設し、駐車場を舗装。さらに、県内の観光果樹園初という水洗トイレを完備するなど、旅館に宿泊する団体客に対応できる観光果樹園となった。



(2) 観光果樹園の客筋の変化を捉えた直営カフェの一新による新たなサービスの提供

後継者の就農を機に、果樹園に併設する売店の一部を後継者が手作りで改装し、カフェの営業を開始した。

景気悪化の影響等で観光バスの団体客が減少する中、家族や小グループを顧客と捉え、平成24年、カフェ部門の収益性改善を図るため、ランチも提供できるよう店内を改装し、「HATAKE Cafe」としてリニューアルオープンした。地域生活情報誌等でも紹介されるようになり、県内外から訪れる家族連れや女性グループの客が次第に増加した。

(3) 「HATAKE Cafe」からフルーツの魅力を発信

法人が目指す「日々のなかに、くだものを。」を具現化するため、平成27年5月、上山市金瓶にある農業用資材小売店の敷地内にオープンカフェ型の「HATAKE Cafe トマト上山店」を開店した。客層に合わせた店舗形態、メニューとしたことで、売上計画を大幅に上回った。本店への誘導効果も期待どおり得られ、本店の贈答用フルーツ、カフェの売上の伸びにつながった。



HATAKE Cafe トマト上山店

平成29年11月にはJR山形駅併設の商業ビルに3店舗目となるカフェをオープンし、SNSによる情報発信も併せ、フルーツの魅力新たな消費者層に訴求している。さらに、JRかみのやま温泉駅前に平成30年4月オープンした「かみのやま温泉観光案内所」のテナントとして、フルーツショップとカフェの営業を開始しており、旅館の宿泊客による土産購入等の売上も伸びている。

3 今後の発展方向

若者の果物離れが言われる中で、カフェを通して果物を日常の食べ物とし、将来的にも山形の果物を選んでもらえるよう、果物の普及を担う、これまでにない新しい形の果樹経営を目指している。